

スターゼン★レポート

2012年3月期(第73期)第2四半期

2011年4月1日～2011年9月30日



おいしさ運ぶ★一番星
STARZEN

証券コード:8043

株主の皆様へ To Our Shareholders



代表取締役社長

西山 律

株主の皆様におかれましては、当社の経営にいつも変わらぬご理解ご支援をいただき誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

当第2四半期における国内景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状態ではあるものの、サプライチェーンの復旧、企業の生産活動や個人消費の回復が進み、景気持ち直しの兆しがみえてきております。

食肉業界におきましては、生産分野では、飼料メーカーの復旧に伴いほぼ震災前の状況まで戻りましたが、消費分野では、焼肉店での食中毒事件の発生により外食需要が落込み、さらには放射性物質による汚染問題により、国産牛肉を中心に食肉の消費意欲が低迷しております。

**シェア拡大のために、新設や移転を行いました。
国内生産基盤を拡充し、
海外市場の開拓も進めてまいります。**

このような状況の中、当社グループは販売シェア拡大のため、水戸、佐賀の事業所新設、いわき営業所の増築、郡山営業所の移転を行いました。

また、製造拠点については、製麺を主体とする(株)青木食品の新工場を建設、郡山プロセスセンターを新設するなど幅広い商品群の販売拡大を積極的に行いました。

以上の結果、当第2四半期における当社グループの業績につきましては、売上高1,283億13百万円(前年同四半期比0.2%増)、営業利益7億60百万円(前年同四半期比36.2%減)、経常利益11億49百万円(前年同四半期比23.7%減)、四半期純利益4億65百万円(前年同四半期比52.6%減)となりました。

下期以降につきましても、これまでの分社化によるグループネットワークを最大限活用し、地域密着型営業の拡大を重点課題に、グループ全体の販売チャネルの多様化の推進、商品力強化による販売量の拡大を図り、国内での全商品シェアアップに取り組んでまいります。また、国内生産基盤の拡充を通じた生産流通体制の確立、海外市場開拓を進めてまいります。

今後も株主の皆様のご指導ご鞭撻をお願いいたします。

取扱商品別業績概況

食肉 (1,046 億 83 百万円) 81.6 %



国産牛肉は、本年春の食中毒事件発生により外食需要が落ち込み、さらに放射性物質による汚染問題により枝肉相場が低迷しました。そのような中、検査体制を構築して安全性確保に努め、取扱量の維持に注力してきましたが、厳しい消費需要の減退により、取扱量・売上高ともに減少しました。

国産豚肉は、相場高により、販売は厳しい状況となり取扱量・売上高ともに前年を確保できませんでした。

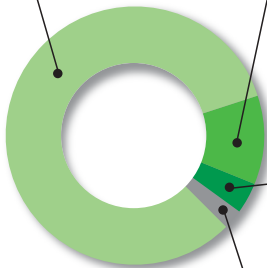
国産鶏肉は、主要産地である東北地区の回復傾向とともに、供給拡大を図った結果、売上高は前年を上回りましたが、取扱量は前年に届きませんでした。

一方、輸入牛肉は生産地価格高騰により輸入調整を行ったため、取扱量・売上高ともに前年未達となりました。輸入豚肉は、積極的な拡売を推進しましたが、取扱量・売上高とも前年並みでした。

輸入鶏肉は、国産品の不足分を補ったため、取扱量・売上高ともに前年を大幅に上回りました。

これらの結果、食肉部門においては、幅広く拡売に努めましたが、売上高は1,046億83百万円（前年同四半期比0.9%減）となりました。

取扱商品別
売上高構成比
(2012年第2四半期)



加工食品 (156 億 47 百万円) 12.2 %



食中毒事件の発生により、焼肉商材の販売に苦戦するも、猛暑の影響、節電意識の高まりにより、調理済食品を購入する傾向が高まったことから、ハンバーグなどの調理加工品の販売拡大に努めました。昨年の食品加工企業の買収効果もあり、加工食品部門の売上高は156億47百万円（前年同四半期比8.9%増）となりました。

ハム・ソーセージ (51 億 71 百万円) 4.0 %

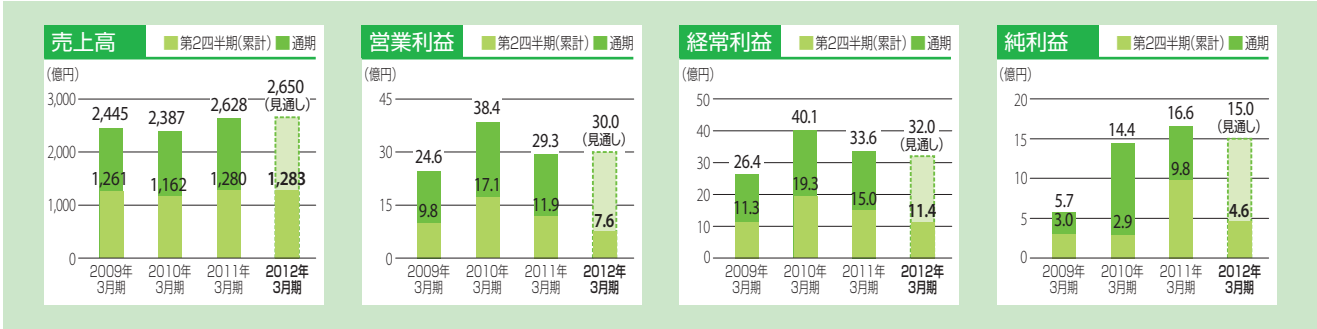


高価格帯商品の消費低迷が顕著となり、中元ギフトの販売量が伸び悩みましたが、幅広く拡売に努めた結果、ハム・ソーセージ部門の売上高は51億71百万円（前年同四半期比4.4%増）となりました。

その他 (28 億 11 百万円) 2.2 %

決算のポイント

売上高	鶏肉や加工食品などの拡売により前年同四半期比0.2%増の1,283億13百万円となりました。
経常利益	国産牛肉の放射能汚染問題による相場低迷、一部県産の牛肉出荷停止等が大きく影響し前年同四半期比23.7%減の11億49百万円となりました。
四半期純利益	国産牛肉販売の落ち込みを補うことができず、前年同四半期比52.6%減の4億65百万円となりました。



連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間末 2011年9月30日現在	前連結会計年度末 2011年3月31日現在
流動資産	57,524	57,589
固定資産	37,166	37,777
繰延資産	52	64
資産合計	94,743	95,432
流動負債	44,980	47,695
固定負債	24,899	22,537
負債合計	69,880	70,232
株主資本	25,637	25,695
その他の包括利益累計額	△960	△713
少数株主持分	185	218
純資産合計	24,862	25,199
負債純資産合計	94,743	95,432

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 2011年4月1日～ 2011年9月30日	前第2四半期 連結累計期間 2010年4月1日～ 2010年9月30日
売上高	128,313	128,086
売上総利益	11,337	11,533
営業利益	760	1,191
経常利益	1,149	1,506
税金等調整前四半期純利益	942	813
四半期純利益	465	982

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 2011年4月1日～ 2011年9月30日	前第2四半期 連結累計期間 2010年4月1日～ 2010年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,341	△1,916
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,539	△1,658
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,431	1,435
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,617	11,285

グループ会社紹介 Group-Company Profile



株式会社 青木食品

会社概要

設立 1971年6月

本社 〒969-1104 福島県本宮市荒井字恵向121番地16 本宮市工業団地

事業内容 麺類の製造及び販売・雑貨卸売販売等

取扱商品 小売用/うどん(茹麺)・焼そば(蒸麺)・ラーメン(生麺)・乾麺・パスタ業務用/焼そば(蒸麺)

大正11年4月「地元」に信愛され全国に羽ばたく麺企業を目指し設立した(株)青木製麺所は、平成17年からはスターゼン(株)の支援を受け「(株)青木食品」としてスタートしました。

平成23年9月には最新鋭の工場を建設し、最高レベルの衛生環境、最新鋭の機械設備そしてISO9001 2008導入により「品質・安全・安心」を重視したお客様本位の信頼される製品作りを目指しています。

■ 本宮市の工場 ■



品質方針

(株)青木食品は、安全で安心な食品をお客様に提供し、社会からの信頼を高めます。この為に法令・規制要求事項、顧客要求事項への適合及びマネジメントシステムの有効性を継続的に改善します。又、以下の重点項目を定め、関係する部門で品質目標を設定します。

経営ビジョン

地元「に信愛され、全国に羽ばたく麺企業になる」

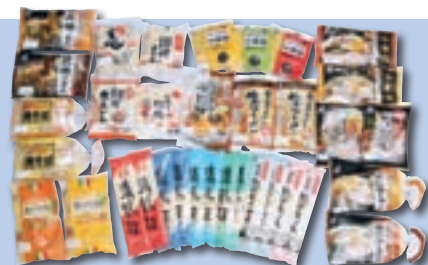
企業基準

- お客様のためになるのか。
- 会社の発展につながるのか。
- 従業員の生活向上につながるのか。

麺のことなら、お任せ下さい！

青木食品では、乾麺、生麺、茹麺、蒸麺等を、毎日15万食以上生産しています。

品質の高さ・安定度が認められ、現在では県内各地のスーパーマーケットをはじめ、宮城県から東京方面まで、幅広く商品を出荷しています。



商品はうどん、そうめん、ラーメン、そば、パスタなど多岐に亘っております。

経営理念

QCDSSS

品質／コスト
デリバリー／サービス
スピード／開発力

情報の共有

生産部門／営業部門
品質管理部門
企画管理部門

一体感

情熱／信念
熱意／尊敬

この方針は、会社全体に伝達し、その実現の為に、全員が自らの役割を認識し協力します。

インターネット通販サイトも
ぜひご利用下さい。



香港フードエキスポ 2011 に出展！

8月11日(木)～13日(土)、香港コンベンション&エキシビジョンセンターにて「第22回 香港フードエキスポ 2011」が開催され、スターゼンミートプロセッサー(株)輸出事業推進グループが鹿児島県食肉輸出協議会ブースに出展し、鹿児島県と連携して「鹿児島和牛」を中心に販促活動を展開しました。

ブースでは、新規商流・販売先の獲得を目的に、中国本土、香港等のアジアを中心とした輸入業者、卸売業者、小売業者、ホテル関係者等の来場者に対して「和牛ロース・黒豚ロース」の展示、DVDを活用した生産から加工までの工程説明、試食商談を行い、商品の安全性と当社の優れた技術を大いにアピールしました。

多くのお客様に、和牛・黒豚の美味しさを再確認していただくとともに、震災以降低迷している日本産食肉に興味をもっていただくことができ、活況のうちに幕をとじることができました。



会社概要／株式の状況 Information

会社概要

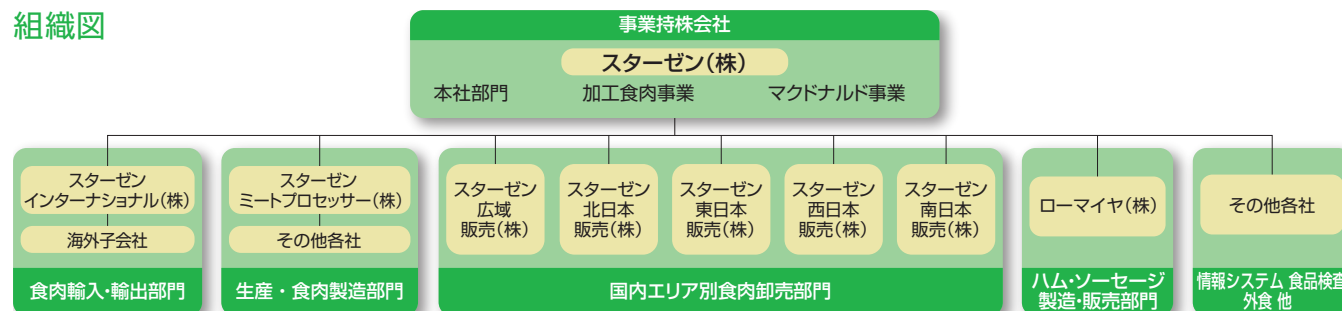
設 立	1948年6月17日
本 社	〒108-0075 東京都港区港南一丁目6番41号
資本金	98億9,975万円
主な事業内容	1.食肉の加工および売買 2.畜産物の生産、加工および売買 3.食肉および畜産物の輸出入 4.食品の製造、加工および売買
主な販売先	スーパーマーケット、食肉専門店、百貨店、 外食産業、コンビニエンスストア、生協、 食品加工メーカー、食肉卸売業、その他
従業員数	(連結) 2,244名 (2011年9月30日現在)

役員

(2011年9月30日現在)

代表取締役会長	会長執行役員	鷗 橋 誠 一
代表取締役社長	社長執行役員	秋 山 律
専務取締役	専務執行役員	中 津 濱 健
常務取締役	常務執行役員	永 野 章
常務取締役	常務執行役員	中 井 俊 夫
取締役	執行役員	宮 坂 文 郎
取締役	執行役員	寺 師 孝 一
取締役(社外)		鈴 木 宏
取締役(社外)		太 田 泰 介
取締役(社外)		本 橋 英 一
常勤監査役		高 尾 壽 郎
常勤監査役(社外)		臼 杵 善 郎
監査役(社外)		小 松 雄 介
監査役(社外)		杉 島 光 一

組織図



株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告 (http://www.starzen.co.jp/ir/koukoku) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株式の状況

(2011年9月30日現在)

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	87,759,216株
株主数	12,874名

★ 株主優待のご案内 ★

日頃からご支援いただいている
株主の皆様へ感謝の気持ちを込めまして、
株主優待を所有株式数に応じ次の通り進呈いたします。

★ 3月31日現在の株主様



①1,000株以上
10,000株未満
3,150円(税込) 相当の
当社グループ製品



②10,000株以上
8,400円(税込) 相当の
当社グループ製品

★ 3月31日、9月30日現在の株主様

- ③1,000株以上 優待ギフト(中元ギフト、歳暮ギフト)を
通常販売価格の20%割引(送料無料)
- ④1,000株以上 レストランローマイヤ銀座店のお食事代
20%割引券

★ 9月30日現在の株主様

- ⑤1,000株以上 ローマイヤおせち割引販売
(送料無料、数量限定)

★ 当社ホームページのご案内 ★



トップページ

IR情報ページ

<http://www.starzen.co.jp/>